

各位

会 社 名 アイティメディア株式会社
U R L <https://corp.itmedia.co.jp/>
代表取締役社長 兼 CEO 小林 教至
(コード番号：2148 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 CFO 兼 管理本部長 加賀谷 昭大
(TEL 03-5210-5012)

当社の親会社であるソフトバンクグループ株式会社（以下、「SBG」）、ソフトバンクグループジャパン株式会社（以下、「SBGJ」）、ソフトバンク株式会社（以下、「SB」）、RBJ 株式会社（以下、「RBJ」）および SB メディアホールディングス株式会社（以下、「SBMH」）について、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますのでお知らせいたします。

(2025 年6月 27 日現在)

親会社等	属性	議決権所有割合(%)			発行する株券が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
ソフトバンクグループ株式会社 (コード:9984)	親会社	0.0	53.4	53.4	株式会社東京証券取引所 プライム市場
ソフトバンクグループ ジャパン株式会社	親会社	0.0	53.4	53.4	-
ソフトバンク株式会社 (コード:9434)	親会社	0.0	53.4	53.4	株式会社東京証券取引所 プライム市場
RBJ 株式会社	親会社	0.0	53.4	53.4	-
SB メディアホールディングス株式会社	親会社	53.4	0.0	53.4	-

2. 親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の名称及びその理由

名称	ソフトバンクグループ株式会社
その理由	子会社である SBJ、SB、RBJ および SBMH を通じて、当社の発行済株式総数に対する議決権の 53.4%を保有しており、当社グループの実質的な親会社であるため

3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

(1) 親会社等の企業グループにおける当社の位置付け、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的関係

当社は SBG グループの中で唯一、インターネット上で IT 関連情報を提供するメディア運営を専門とする企業であり、同社グループが今後拡大強化していくインターネット上のコンテンツ企業の代表的な一社です。

SBG は、その傘下に多数の連結子会社、関連会社を保有しており、その中には当社と部分的に競合もしくは協業関係を持つ企業があります。

その代表例は LINE ヤフー株式会社です。同社は国内最大のインターネットポータルサイトとして幅広いコンテンツをインターネット利用者に原則として無料で提供しており、広告収入が主たる収益源になっておりますが、同社は一部のニュースを除いては、経営層及び技術者向けの専門情報を提供していないため、これら分野では特に当社グループの独自性が保たれ、明確な差別化ができております。

SB クリエイティブ株式会社は、SBG グループにおける中核的なコンテンツ企業として、様々なメディアの開発を行なっております。しかし、同社の主たる事業は出版事業であり、現時点では当社グループの事業に影響を与えるようなインターネット上の IT 関連メディア事業を行なっておりません。

SBG グループのその他の企業において、当社グループと類似の事業を行なっている事業会社は現時点では存在しておりません。

本日現在における当社役員9名のうち1名は、その豊富な経験に基づく経営体制及び監査体制等の強化を目的として、SBG グループから招聘しております。その者の氏名ならびに当社、SBG グループにおける主な役職は以下のとおりであります。

当社における役職	氏名	SBG グループにおける主な役職
取締役	木崎 秀夫	RBJ㈱ 代表取締役社長 SB メディアホールディングス㈱ 代表取締役社長 SB ヒューマンキャピタル㈱ 代表取締役社長 SB クリエイティブ㈱ 取締役 ギルドワークス㈱ 取締役

(2) 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的関係などの面から受ける経営・事業活動への影響等

当社の事業活動を行う上で、SBG からの承認事項などはなく、同社からの制約はありませんが、管理業務(人事・総務等)において親会社のノウハウや助言を得られることは、強固な社内管理体制の整備に有用であると考えております。

(3) 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的関係などの面から受ける経営・事業活動への影響等がある中における、親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方及びそのための施策

SBG グループにおいて、当社グループと類似の事業を行なっている事業会社は現時点では特に存在しておりません。当社は、SBG の事業領域のうちのメディア・マーケティング事業において中核企業として位置づけられておりますが、同社は傘下の子会社の事業領域を尊重し、グループ各社はそれぞれが担っている事業分野を互いに侵食しない経営方針を原則として維持しております。

なお当社は、独立性の確保のために以下のような取締役会の諮問機関を設置しております。

[指名・報酬委員会]

当社は、取締役の指名・報酬等に関する手続きの公正性・透明性・客観性を強化し、コーポレートガバナンスの充実を図ることを目的に、指名・報酬委員会を設置しております。指名・報酬委員会は、取締役会の諮問機関として、取締役会の構成に関する事項、取締役の選任・解任に関する事項、代表取締役及び役付取締役の選定・解職に関する事項、取締役等の後継者計画に関する事項、取締役の報酬に関する事項、その他取締役会から諮問された事項を審議、取締役会に対して答申を行っております。

現在、指名・報酬委員会は、代表取締役会長、非業務執行取締役(非常勤・無報酬)1名および社外取締役3名の5名で構成されており、代表取締役会長を委員長としております。

[ガバナンス委員会]

取締役会の諮問機関として、取締役会付議事項における利益相反取引等に対し、経営陣・支配株主から独立した立場より、少数株主の意見を取締役に適切に反映させ、当社の意思決定の公正性を担保することを目的に特別委員会を設置しております。社外取締役全5名を構成員とし、以下に該当する取締役会付議事項における取引の合理性や取引条件の相当性の審議・提言を行っております。

- ① 合併、会社分割、株式移転その他の組織再編行為
- ② 他社株式に対する公開買付
- ③ 自社株式の非公開化
- ④ 新株予約権の割当(親会社の役員を兼務している役員に付与する場合)
- ⑤ 親会社やグループ会社との重要な取引
- ⑥ ①～⑤に準じた当社の経営ないし統治機構に関し、取締役会議長から諮問を受けた事項
- ⑦ ⑥の他、本委員会の委員が必要と判断し委員会に付議した事項

(4) 親会社等からの一定の独立性の確保の状況

事業活動を行なう上で SBG からの承認事項などではなく、当社グループは編集、記事制作、インターネット広告における営業活動等、すべての業務を独自に展開しております。また、SBG グループからの役員の兼務状況は当社独自の経営判断を妨げるものではなく、一定の経営の独立性は確保されていると認識しております。

4. 支配株主等との取引に関する事項

親会社等との取引に関しては、開示すべき重要な取引はありません。

5. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社では、事業計画等に基づき、SBG 及び SBG グループとの取引を行っておりますが、その取引条件の決定は、公正な市場価格に基づき、適法かつ適正にこれを行っております。

以 上